

★これからボランティアを始めたい方へメッセージ  
 ボランティアは最終的に自分のためにさせていたが、無理をしない、大変だと思っても一休み、出来るようになってまた再開する、位のスタンスが良いと思えます。自分が楽しいと思えるような活動でなければ、継続出来ないでしょう。心に余裕を持ってボランティアを楽しんでください。

★インタビュー後記  
 今回は、平成19年3月から当園に「朗読ボランティア」として来ていた「ナレーションサークル風」代表 福村千代美さんにお話を伺いました。幼少の時は本を読み絵を描くことが好きで、お話を描いた芝居をしたりして遊ばれてきたそうです。16歳から民放の放送劇団に入団！CMや舞台で活躍。ご結婚後ご主人の転勤で大刀洗町に来られ、朗読活動を開始。「好きなことだから続けられた。」と明るい笑顔でお話される福村さん。何か自分に来ることはないかと前向きに捉えられ形にされていく福村さんに感銘を受けたインタビューでした。(桑野・原田)

## 朗読ボランティアインタビュー



福村さんはご結婚後、ご主人の転勤で大刀洗町へ。平成7年に視覚障害者の方へ町広報の録音テープを制作することがきっかけで「ナレーションサークル風」を結成されました。大刀洗町のボランティア団体として、乳幼児から高齢者までを対象に朗読活動を行っています。また、町のボランティアセンターの運営委員やボランティア連絡協議会の会長、ボランティア情報誌「ちよぼら」の編集など多岐にわたり活動されています。

### 筑紫野社協との連携について

筑紫野社協主催ボランティア入門講座

◆日頃からボランティア連携等で大変お世話になってる筑紫野社協主催のボランティア入門講座、第1回ボランティア入門講座を開催するにあたり、4回シリーズの1回を聖ヨゼフ園見学をお願ひしたいとのお話があったことがはじまりでした。

見学には、12名の方がお見えになり、地域福祉部で作成した園紹介・ボランティア活動の様子などの映像を見ていただいたり、パワーポイントを使って詳しく説明、その後園内を見学していただきました。見学当日は、来ていただきありがとうございました。最終日にありました「活動報告会」に参加させていただき、参加者の方々の貴重な思いを伺うことができました。以下、その内容を転記します。

◆参加者の声◆

●テレビなどをみていて、「自分には何が出来るだろうか」と常々思っていた。そして、やってみようと思った時にどこへ行けばいいのかわからなかったが、今回の講座に参加できてよかった。聖ヨゼフ園のオセロボランティアをしてみたい。

●車椅子操作の学習の機会をもっと増やしてほしい。子どもが自立し、余裕ができたので、人のために何かしたいと思っている。ボランティアをはじめたい。園内には、今住んでいる団地に高齢者が多く、その地域の方々が手助けしたかった。環境はバラバラでも、こうして志が同じ方々と時間を共有できることが嬉しい。

●今まで「ボランティア」と言う言葉は耳にしていたが、今回初めての大変良かった。参加して良かった。



●講座のチラシを見ると、市報を見る人は違う。退職された方たちは、市報はよくみている。市報に詳しく載せたり、町内の回覧板を活用しては。

●聖ヨゼフ園に見学に行き、感じたことは、利用者の笑顔が素晴らしい！それは、職員が笑顔が素晴らしいからだと感じた！

●参加者の皆様の貴重な思いを直接伺うことができ、大変有り難く感じました。このような機会を与えてくださる筑紫野社協の方々に感謝申し上げます。

★ボランティアを始めたきっかけは？

大刀洗町へ転居されて来た視覚障害者の方から、「社協への「大刀洗町を知りたい」という要望で「広報たちあらい」を音訳することになったの」がきっかけです。「広報たちあらい」を始めたのは、誤字脱字に気がついて、聞いて分かります。当初は「広報たちあらい」を6名で分担して各自がテープに吹き込み、それをまとめる形で、ポリウム調整しながら60分テープに編集していましたが、現在ではパソコンを活用してCD2枚に編集し、視覚障害者の方へお届けしています。広報紙のページ数が1.5倍位に増えましたが、メンバーも増えたので全員で分担して読んでいます。

★「ナレーションサークル風」について教えてください

会員数は16名。結成のきっかけになった視覚障害者の方へ、町の情報「広報たちあらい」など録音CD作成、提供を会の柱としています。町内の障害者・高齢者施設で

★ボランティア活動を通して印象に残っている事

いろいろな方と出会う機会があり、その方たちとお話することで多くの事を学ばせていただき、自分自身を向上させてもらっています。昨年、ボランティア連絡協議会主催の「ほっこり井戸端サロン」で、耳の不自由な方が普段の生活をするのにいかに大変で不自由かというお話を聞く機会がありました。お話を聴く機会がなかったので、手話通訳の方を交えてのお話でしたが、手話の大切さや自分の知らなかったことなど、たくさん気付けられました。知ることの大切さを大いに感じたひとときでした。

聖ヨゼフ園では随時ボランティアに来てくださる方を募集しています。活動内容はお話し相手、お散歩、ゲーム、朗読、音楽など様々です。詳しくはホームページ・ボランティアブログでもご覧いただけます！見学だけでも大歓迎です。お申込み・お問い合わせは電話またはメールにてお待ちしております。

## ボランティア募集!

お気軽にどうぞ♪